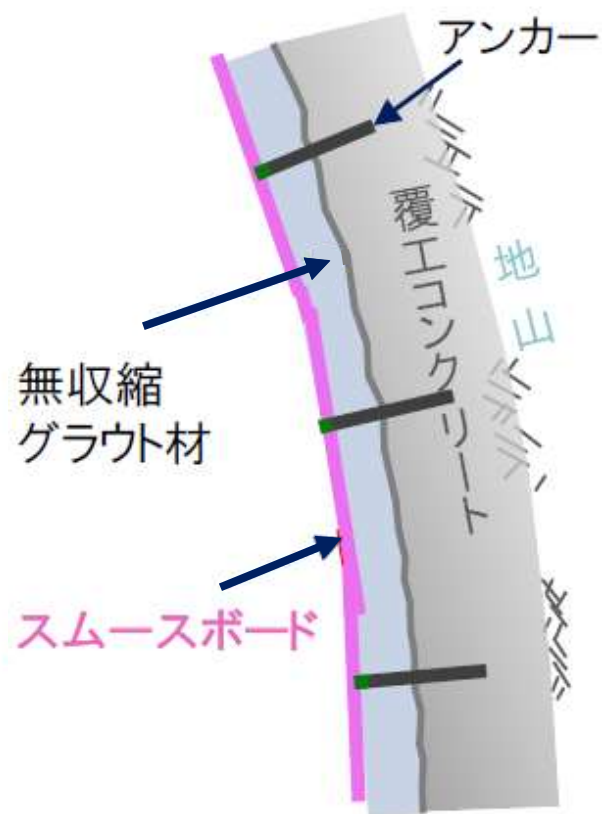


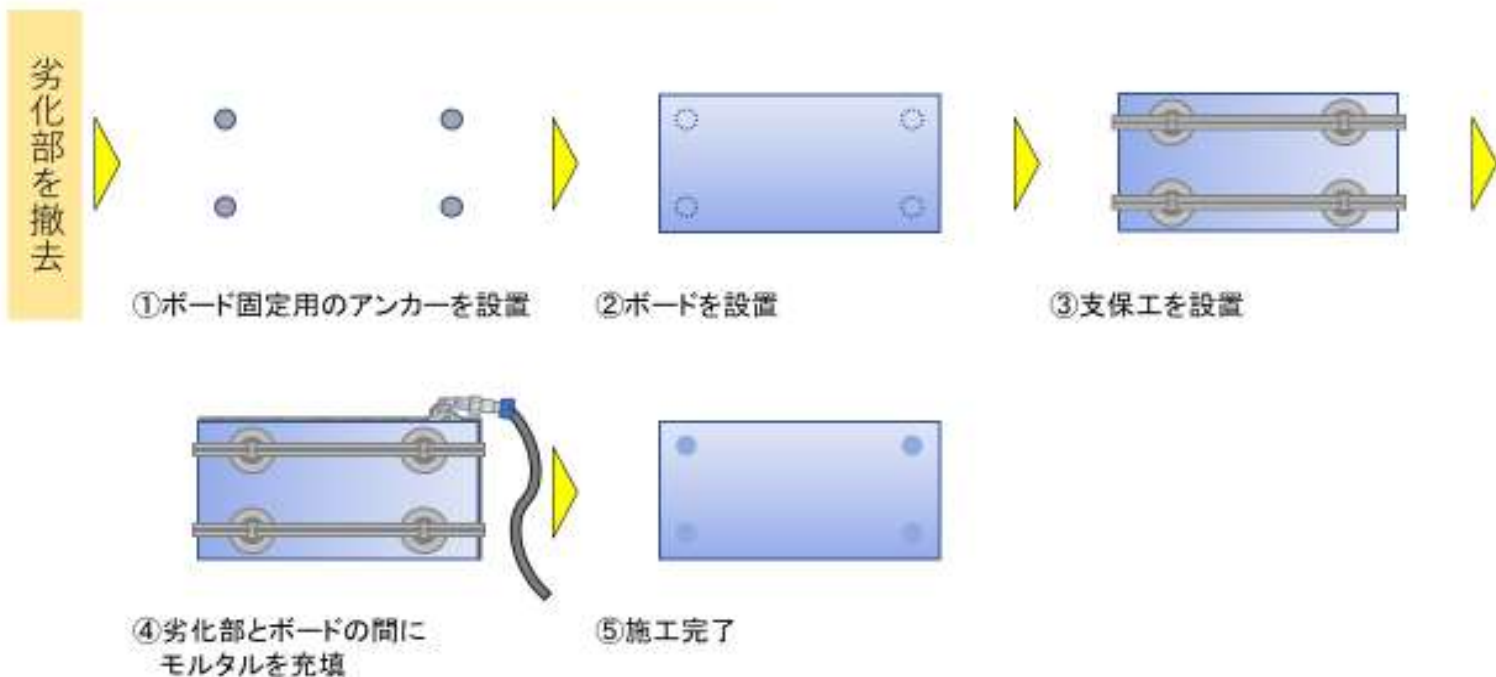
トンネル覆工補修工法の概要

既設覆工コンクリートの劣化部を除去後、ボード固定用のアンカー、スムーズボード、支保工を設置。その間隙に無収縮グラウト材を充填し、覆工コンクリートの断面を補修する。



断面図

トンネル覆工補修での施工ステップ



■ トンネル覆工補修工法の特長

セトルを使用して覆工コンクリートを打設する従来工法と比較し、以下のような特徴がある。

① 通行止めが不要

セトルが不要で、移動式足場等のコンパクトな設備での施工が可能のため、片側交互通行を確保でき、通行止めが不要である。さらに、トンネル周方向の分割施工が可能で、施工範囲を任意に設定できる。

② 施工性向上・コスト縮減

セトルやプレキャスト製品を使用した従来の覆工補修工法と比較し、施工性が向上。コストの縮減が可能。

③ 覆工コンクリートの耐久性向上

スムーズボードを埋設型枠として使用するため、長期湿潤養生効果により、覆工コンクリートの温度ひび割れや乾燥収縮ひび割れを抑制。また、圧縮強度も増加。